

市民福祉委員会会議録

1. 開催年月日

平成30年1月19日 開会 9時57分 閉会 10時43分

2. 開催場所

委員会室

3. 出席委員名

柳井一徳 藤原浩司 柳原英子 惣台己吉
三宅文雄 簀戸利昭 森本典夫

4. 欠席委員名

なし

5. その他の会議出席者

(1) 議長 西田久志
(2) 事務局職員 事務局長 川田純士 事務局次長 岡田光雄
主任 吉原茂充

6. 傍聴者

なし

7. 発言の概要

委員長（柳井一徳君） おはようございます。

皆さんお揃いのようなので、時間より早いですが、ただいまから市民福祉委員会を開会いたします。

〈議長あいさつ〉

委員長（柳井一徳君） 本日の議題は、1、議会への提案についてから3、その他でございます。

〈議会への提案について〉

〈回答案について協議〉

・ 買い物支援について

〈決定〉

〈所管事務調査〉

〈屋外イベント等での授乳やオムツ交換のための移動式テントの導入について〉

委員長（柳井一徳君） 赤ちゃんの駅及び移動式赤ちゃんの駅等について、県内他市及び備後圏域連携を行っている広島県東部の4市、福山市、府中市、尾道市、三原市に導入状況を調査した一覧がありますのでご確認ください。お手元に大きいA3判のものがあると思います。

このことについて、皆さんのご意見をお伺いしたいと思いますので、まずご一読ください。3枚つづりになっております。

いかがでしょうか。

一番上にありますのが、赤ちゃんの駅、いわゆる表示です。トイレ等々でおむつ交換可能でありますという表示をしておる他市の情報でございます。それから、2枚目が移動式テントの情報をまとめていただいております。3枚目は、赤ちゃんの駅事業の整備、おむつ交換台を整備するかトイレを改装するかというときの補助事業についての回答です。

この事業、それぞれ3つあるわけですが、今回事業を選定していったほうがいいのか、それとも3つ全てをまとめて将来的に、本年度、来年度の政策提言に持っていくのか、提案に持っていくのかということ、どういうふうに進めていくのがいいのかなというふうに思うんですが、いかがでしょうか。

視察へ行ったときの皆さんのご意見は、移動式テントを大変すばらしいなと、これを何とかしたいなというご意見が多かったというふうに思っております。それに付随して、こういった赤ちゃんの駅等々も視察があったわけですけど、そこらも含めてご意見がありましたらお願いいたします。

委員（森本典夫君） 井原市の場合、これからということではありますが、3点全てを網羅して提言をするというふうなことがいいのではないかなと。その中で、1番目のことをどうにか市がやりましようということになって、その次の移動式はちょっと今のところというこ

とになったり、補助についても今のところということになるかも知れませんが、まず3点は提言していくということが必要ではないかな、問題提起するという意味で、と思います。

委員長（柳井一徳君） 今、問題提起の意味も含め、全て3点を提言として載せていくべきではないかと、選択するのは執行部ということですね。そういうご意見でした。

委員（柳原英子君） だから、赤ちゃんの駅というのを表に出しての事業ということでやっていけばいいのではないかと思います。

委員長（柳井一徳君） それは、3点全てということで。

委員（柳原英子君） 3点。

委員長（柳井一徳君） 総称、全てを赤ちゃんの駅事業ということで、その中の一つが可能なところの表示であり、また移動式テントであり補助事業であるという考え方ですね。そういうご意見でございました。

副委員長、何かございますか。

副委員長（藤原浩司君） 皆さんがよろしければ、私は別に。

委員長（柳井一徳君） 簗戸委員、いかがですか。

委員（簗戸利昭君） 結構です。

委員（三宅文雄君） 結構です。

委員長（柳井一徳君） 三宅委員も。惣台委員も同じですか。

委員（惣台己吉君） はい。

委員長（柳井一徳君） お二方のご意見が全てということですので、総称赤ちゃんの駅事業として我々取り組んでいき、この3つを今後もっと詳しく協議していきたいというふうに思います。

今日、まずこの3つを全てという、今日は今後のスケジュール等々ありますが、この事業を取り上げていく政策提言として将来的に持っていくために全協で何か言う必要があるんですか。

事務局長（川田純士君） 日にちがいつじゃったかあれなんですけど、今年度で。

委員長（柳井一徳君） 3月議会の最初の。

事務局長（川田純士君） じゃなくて、政策提言につなげる仕組みというものを議運で審議いただいて、全協で承認いただいております。その中では、委員会で提案をこしらえたものを全協でまず皆さんに提案してこれでいいかどうかということ、皆さんの合意形成を図るということで、ただ一回だけ設けてそれで了承というんじゃなくて、よく吟味を議員の皆さんがされて合意形成を図って政策提言につなげるというような趣旨での仕組みづくりというものを了承いただいておりますので、そういった方向でいくということになりゃ、ぎりぎりに全協へ出すということになれば、差し戻されるというふうなのもありますんで、ある程

度余裕を持ったほうがいいんじゃないかとは思いますが。

委員長（柳井一徳君） 今、局長のほうからも今後のスケジュール的なタイムスケジュールを教えてくださいましたけども、6月を一応最終の締め切りというか、提案を作成するときも6月というふうに、6月議会に出せるようにということでやっておりますので、3月議会までに、まず一月ずつに1個ずつやっていくのがいいのか。

委員（森本典夫君） 2月議会。

委員長（柳井一徳君） あ、2月議会ですね、失礼しました。2月議会までにあと2回ほど委員会がありますけども、どういうふうに今後進めていったらいいのかなというふうに思うんですが、いかがでしょうか。

この3つを、同時にずっと毎回取り組んでいくか、それとも1つずつ、1カ月に1回は1つずつを決めていくほうがいいのか、どういうやり方。

委員（森本典夫君） 僕は、一括、3点。

委員長（柳井一徳君） 一括に3点、毎回。

委員（森本典夫君） そうぼっけえ時間かからんと思いますんで、やってまとめていったのがいいんじゃないかなと。ですから、細かい資料が出てますんで、こういう資料もつけながらまとめていくというふうなのがいいんじゃないかなと、僕は思います。

委員長（柳井一徳君） 今、全てを協議していこうと、まとめていこうということです。

〈なし〉

委員長（柳井一徳君） 全て、3つをセット、総称を赤ちゃんの駅ということで、事業ということでまとめましたので、この3つを据えていつも協議をしていくということでよろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） それでは、まず今回は3つのそれぞれの事業、こういう各市の一覧をつくっていただきました。井原市として、この前の議会の執行部の回答の資料で公共施設の12施設が発表されました。それにはついてるかどうかというのを、まず確認していかなきゃならんと思うんですが、表示が。ついてないところもある、あれはついてあるところが12カ所だったですか。

委員（三宅文雄君） 授乳可能施設が12施設です。

委員長（柳井一徳君） 表示はしてあるかないかは。

副委員長（藤原浩司君） わからん。

委員長（柳井一徳君） わからないですよね。

委員（惣台己吉君） じゃなかったかな。

副委員長（藤原浩司君） そこまでは言わなかった。

委員長（柳井一徳君） そこまでは言ってないですよね。

委員（三宅文雄君） だから、前回の資料によりますと、授乳可能施設は12施設、それからおむつ交換可能施設が37施設ということで、表示云々についてはなかったというふう
に覚えています。

委員長（柳井一徳君） その中には、済みません、私も手元にありませんけれど、資料持
ってきてないんで申しわけないです。12カ所と37カ所は重複しとるとこもあるんですよ
ね。

副委員長（藤原浩司君） 多分そうです。

委員長（柳井一徳君） ですよ、両方可能になっているところ。

委員（三宅文雄君） ありますね。

委員長（柳井一徳君） そこら辺のところをもう一度、詳しく絞り込んでいくというか、
どんなですかね、そこらを調べる調査していく必要はあるでしょうか、どうでしょう。

副委員長（藤原浩司君） 次の、確か委員会が9日でしたね、委員長。

委員長（柳井一徳君） 9日です。

副委員長（藤原浩司君） それまでに、要は我が市の状況を全て聞き出して、そのときに
他市と比べて、ないものはどういうふうにしていくかという順番で皆さんで協議していけば
いいんじゃないかと思いますが、いかがでしょうか。

委員長（柳井一徳君） 今、副委員長のほうから2月9日の次回の委員会のときまでに、
本市の37及び12の施設を再度調査、これは執行部に。

委員（森本典夫君） こっちで調べにゃいけん。

委員長（柳井一徳君） こっちで調べるんですよ。

事務局長（川田純士君） こっちの所管事務調査ですから。

委員長（柳井一徳君） ですよ、ですから一応我々のほうで調査をしていき、それを他市
と比較していくというご意見だったと思います。

委員（柳原英子君） 市の施設もなんですけど、民間の施設も、例えばお店あるじゃない
ですか、ああいうところもしてあるわけだから、そういうところも一緒にすることのほうが皆
さんにわかりやすいし、民間の方にも参加していただいているという、元々あるところのほう
が今は多いわけで、おむつ交換のところとかは用意して、ハートビル法ですか、ああいうの
を最低採用されてるので、そういうところはきっとあるので、きつともう何も苦勞しなくて

もそういうところはシール張るだけで事業をしてるような、してくださってるような、参加してくださってるようなイメージにもなるので、皆さんが市を挙げて参加、応援してるよっていうふうになるほうがいいので、民間のはどうするんですか。

委員長（柳井一徳君） 今、民間はどうするべきかというご意見が出ましたけれども。

委員（簀戸利昭君） 公共施設もそうなんです、やはり所管事務調査ですから議員それぞれが手分けをして、地区別になるのか場所別になるのかわかりませんが、幾らか手分けをして現地を確認して、どういう状況にあるか、まず何を調べるかという、あるかないかを調べる、これはついてるところがどういう状況にあるのかと、表示がどうなっているのかというようなことも含めて調べていかんとできんのじゃねえかなという気はします。

委員長（柳井一徳君） そうですね。では、民間も含めてということによろしいですね。

委員（簀戸利昭君） そうですね。

委員長（柳井一徳君） 簀戸委員も、民間も含めて手分けをする。手分けをする方法はその後また協議をしたいと思いますが、まず民間も一緒に調べるべきか、それとも公共施設だけを調べるべきか、この2つで絞っていきたいと思いますがいかがでしょうか。

副委員長（藤原浩司君） 簀戸委員の言われるとおりで、3枚目のおむつ交換の可能な場所を整備する場合の補助、あれの中で、津山でも一般の企業に参画していただけたところには補助が出るような形もあります。これも協議していく中で、やはり民間の施設も十二分に把握した中で進めていくべきだと思います。

委員長（柳井一徳君） 今、副委員長からも、民間のほうへも調査を入れるべきだということがございました。

両方を含めて調査をしていきたいというふうに思います。民間のほうは、商業施設のみならず工場等も含める必要があるのではないかなというふうに思うんですが、いかがですか、でも工場は赤ちゃんを連れて仕事に行く方はおられんですね。

委員（簀戸利昭君） おられる方は、そりゃ託児所が、そういう話じゃろうな。

委員長（柳井一徳君） もう、商業施設だけに絞ってよろしいでしょうか、民間は。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） それじゃ、本市の公共施設と民間の商業施設、商店、スーパー、そうしたところを含めて調査をしていきたいというふうに思います。

先ほど、簀戸委員からもありました方法論、何を調査するか、これはまず赤ちゃんの授乳、おむつ交換の表示があるかどうかということ調べていく必要があると思います。アンケートの中の1から7までありますけれども、どうですか、1と2ぐらいでいいですか。ア

アンケートの1段目と2段目、デザインの種類も要るんですかね。

副委員長（藤原浩司君） デザインの種類は、井原市の。

委員長（柳井一徳君） 井原市独自のデザインということで。

副委員長（藤原浩司君） でんちゅうくんもおるんじゃけ、それを使やお金かからんけ。

委員長（柳井一徳君） 調べるのは、1番、2番ぐらいでいいですか。いかがでしょうか。

委員（惣台己吉君） 1番、2番でいいと思います。

委員長（柳井一徳君） デザインはまた、それぞれあると思いますんで。

委員（簀戸利昭君） 特に民間の場合、どういことを聞くかということもありましようから、できれば文書をこしらえていただいて、当然勝手に見るのも商業施設なら可能だとは思いますが、表示がどうなっているのか、おむつ交換ができるとか授乳施設があるという表示がどうなっているのかとかを、こういう項目でチェックしていくチェックシートがないと、見てそれぞれの見方もありましようからある程度のチェックシートをこしらえてそれでチェックして、こういうお店はこうでした、こういうお店はこうでしたというような報告が、まして公共施設も含めて表示がどのようになっていたとか、そういうふうにしたら簡単じゃないかなと思います。

委員長（柳井一徳君） 今、皆さんで調査をしていくときに統一したチェックシート、アンケート的なものがあるのか、そういったものをチェックシートをつくって回ろうというご意見がございました。いかがでしょうか。

委員（森本典夫君） それでいいと思いますが、1と2ということ、あわせてうちは表示してますよというようなことがあれば、4番のデザインの種類というのがありますが、ここもどういのが表示されてるかというのわかるようなことにしていったほうがいいと思いますのと、それから6番で民間の協力事業所等に対して同様の表示の有無ということですが、これと1、2、4、6というぐらいのところ、先ほど言われておりましたような文書をつくってお尋ねするというふうな形にしたのがいいんじゃないかなというふうに思います。

委員長（柳井一徳君） 今、森本委員から、4番、6番も追加をするべきであろうということのご意見ございました。項目も多いほうが聞きやすいかもわかりませんし、回答ない場合も、2つだけですと会等がなかったら、いえ協力しませんと言われたら終わるんで、多いほうがいいかもわかりませんが、いかがですか。

委員（柳原英子君） 1番は、トイレ等において授乳やおむつ交換が可能な場所、同一的な表示の状況ということで、表示の状況になるので、1番はあるかないかとかというの也要るのかなと思うんですけど、表示があるかないか、そういう授乳の施設があるかないかと

か。それを分けてくださるということですか。じゃあお願いします。

委員長（柳井一徳君）　　じゃあ、お手数かけますけども、執行部で、アンケート形式みたいに持ってたらどんなかなと思うんですが。この項目についてお伺いをしたいんですがというふうにして、入っていく、お店に、施設に。

副委員長（藤原浩司君）　　どっちにしても、市民福祉委員会で各お店とかを調べるというのは絶対にできないことなんです。ですから、我が市の福祉の管轄の部署のほうから、一応我が市はどうであると、民間ではどうであるというふうな調査、なかったらなかったで仕方ないんですけど、我が市ではこのようにしてるというふうな、我が市を中心に動向がわからないと調べようがないですし、情報を入れるというのはやはり執行部のほうが情報は長けているんで、そこも合わせて聞いた中で我々が足を運んで、実際どのような形なのかということを見て調査をしていくというほうが確実にできるんじゃないかと。また6月の定例会のときに、前に提案として出すのであればそのようにしていかないと、まずもって間に合わないんじゃないかと思えますんで、その辺は皆さんでもう一度協議していただければと思うんですが、やはりある程度の資料は聞いておくべきかなと思えますんで。

　　以上です。

委員長（柳井一徳君）　　まず、執行部のほうでもっと詳しく調査をする。

副委員長（藤原浩司君）　　というか、情報を。

委員長（柳井一徳君）　　情報をもらう。

副委員長（藤原浩司君）　　そうです。

委員長（柳井一徳君）　　この間の情報をもう少し詳しくということですかね。

副委員長（藤原浩司君）　　先ほど、資料、三宅委員のほうから詳細に教えていただいたんですが、それに対してシールで張ってあるかというようなことはいただいてない。そこら辺もちゃんと聞いた中でこうこの、民間にはほんならそんなところがあってそういうふうにしとるところが、わかるところがございますかというような形で、そこに行けば、一件だけしかわからないと言えばそこに行けばそこからまた情報を聞けば広がりわかるのかなというふうな形でいけばいいのかなと。

委員長（柳井一徳君）　　今のご意見は、前回いただいた資料は施設の発表だけであって、その中身がわからないので中身を確認、執行部に尋ねたいということでございます。

　　これは聞けるんですか。

事務局長（川田純士君）　　それは、市の施設。

委員長（柳井一徳君）　　市の施設。

事務局長（川田純士君）　　それは把握はしとると思いますけど、民間はちょっと。

委員長（柳井一徳君）　　民間はその後で。

副委員長（藤原浩司君） じゃけ、とりあえず民間は民間で、わかっどること、知り得とることがあるのかないかは尋ねるのが当たり前のことであって、それが答えられなければ仕方ないことであって。とりあえず、我が市で情報をとにかくいただかないと動きようがないです。

委員（三宅文雄君） この前の委員会、井原市において授乳やおむつ交換可能な公共施設の状況ということで資料要求しとるわけじゃから。

副委員長（藤原浩司君） そうです。

委員（三宅文雄君） 民間施設については、資料要求してないわけじゃから、やっぱしそれは聞いてみる必要があるかと思ひますけど。

委員長（柳井一徳君） 民間も、じゃあわかる範囲で回答をいただければということでもろしいでしょうか。

副委員長（藤原浩司君） もしわからなかつたら、社会福祉協議会とかにも問い合わせしとるべきかなと思ひうんで、よろしくお願ひします。

委員（簀戸利昭君） 民間は、恐らく把握されてねえような気がするんですが、実際のところ。

副委員長（藤原浩司君） 聞いてみにゃわからん、そりゃ。

委員（簀戸利昭君） それについては、やはり手分けをしてやっていきょうらんと、大儀なこともありましようけど、それをしていかんと、じゃけどどういう、今番号で言うたら1、2、4、6について調査を、それぞれの商店であるとか、商店というかほとんどスーパーに近いようなところは恐らく幾らかの用意はしてあると思ひますから、そこらであるとかコンビニエンスストアであるとかというところへ、個人的なところへ行こうと思ひとやっぱり文書がないとなかなかお聞きしづらいので、市民福祉委員会でこういう調査をしょうりますと、いう形で文書を委員長名か議長名でこしらえていただひて、それで依頼して、チェックシートのもとにチェックさせていただひてというような形がいいのではないかと思ひます。

副委員長（藤原浩司君） よろしいですか、何回も言うんですけど、まず執行部に尋ねてみて、ないものがあるんであればいろんな形で皆さんと協議して調べていくことが調査の趣旨であって、はなから知らんのんじゃねえかとかというように言うべき問題ではないと思ひうんです。一応、うちの井原市自体の公共施設が、こういうふう知つとるところがあるかということも尋ねることですから、それを尋ねてないということになれば今簀戸委員が言われたように動けばいいだけであって、はなからもうない、わからんからというてそういうふう動こうということじゃなしに、淘汰した中で進めていけば皆さんのいい意見も出ますし、民間のあり方もよくわかつてくるんで。だから、一応とにかく執行部へ尋ねることは尋ねてみるべきだと、私は思ひます。

委員長（柳井一徳君） 執行部には尋ねてみるということ、ゼロ回答ということはあるかもわかりませんが、それは加味しておいて一応尋ねてみるということで統一したいと思います。

簗戸委員の言われるチェックシートは、この4つの項目、1、2、4、6ということにチェックをしていただけるようなことを作っていきたいなというふうに思います。できるだけ早く作って、執行部のほうにもそれは、民間も含めての再度詳しいことを尋ねてみるということによろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） チェックシートができ次第、皆さんにお渡しをさせていただきますけど、どうでしょうか、2月9日に振り分け先を決めるか、今日それともまだ時間がありますんで、民間は別として公共施設の振り分け先を8人で分けるか、7人、いかがでしょうか。

副委員長（藤原浩司君） それ、表示に対してですか。

委員長（柳井一徳君） チェックシートをするところを、公共施設を37、重複してればもっと数は減ってくると思いますが、いかがですか。

委員（簗戸利昭君） それ、振り分けときゃええと思いますけど。

委員長（柳井一徳君） じゃあ、資料を。

委員（三宅文雄君） 済みません、公共施設について、この前の要求では表示云々までは執行部に尋ねてないと思うんですけど、追加の質問で12施設上げてもらったんですけど、表示はどういうふうにされてるかということを改めて聞くというのもどんなんですか。

委員長（柳井一徳君） それは聞いていきます。それで、今するのはそれが出てきてからです。その中に、例えばもう表示してあるというのがあればそれはもう消していただければ。例えば、本庁舎とアクティブと市民病院と3つが自分の担当であって、その3つともあればそれはチェック済みということでもいいと思いますし、実際見ていただいたほうがいいかなというふうに思うんですが、どんなですか。

委員（惣台己吉君） 公共施設にあるかないかというのと、もう一点はどういう表示してあるんかというのもあると思うから。

委員長（柳井一徳君） そうですね、確認の意味で1回見といていただければというふうに思うんで、それも。

委員（惣台己吉君） だから、あるかないかとか表示というような、執行部に聞いてもええ思うんじゃけど、どういうやつかというのは実際写真撮ってくるとか、それも検討して。

委員長（柳井一徳君） 今、惣台委員からも写真撮ってくれという、今いい意見が出たんですが。

委員（柳原英子君） 写真は撮ってもオーケーなんですか、大丈夫。

委員（三宅文雄君） 公共施設は大丈夫。

委員（惣台己吉君） それも、やっぱり了解を得るべきかどうかというんやこうもあるから、そういうことも、写真撮るためにはというようなことも検討しとったほうが。

副委員長（藤原浩司君） 施設に行ってから、写真よろしいかとか、簡単でええと思えます。

委員長（柳井一徳君） 懸念は、こういう施設なんで女性トイレになるんじゃないかと思うんです。施設の人についてきてもらえれば、問題はないんかと思うんです、中へ入らせてもらうということが、我々、柳原さんは大丈夫ですけど、他の方、セクハラ問題だとか、議員があがんことをしょうたといって市民に言われたら問題になるんで、そこらのところは。

副委員長（藤原浩司君） 施設はわかっとするけ、最初からこっちから問い合わせしときゃええ思うんです。

委員長（柳井一徳君） 施設長に言うて入らせてもらって。一番ええのは、同行してもらうてという。

副委員長（藤原浩司君） それはそうですね。

委員長（柳井一徳君） そこんところだけ統一させていただいて。

副委員長（藤原浩司君） ご理解をいただいて。

委員長（柳井一徳君） そりゃもうええですよ、勝手にどうぞって言われりゃ、もう了解済みということで見させてもらうということ、まずそれはそこの責任者の人に確認だけとって見させてもらうということをお願いいたします。

他に何か調べていく、今三宅委員が言われた、執行部は別方向で尋ねていきます。その回答出たとき、振り分け先を調べていくとき、惣台委員もおっしゃられたように写真を含めて実際自分で確認をすると。その場合には、まず女性トイレなんで、確認をしてオーケーをもらって了解をもらった上でしていくということで、他に何か注意事項ございますか。

副委員長（藤原浩司君） ないと思う、公共に関しては。

委員長（柳井一徳君） それで、もし執行部から民間がゼロ回答、調査しておりません、把握しておりませんっていう回答来たときに民間を調べていくのは、その次のときでもいいですか、一緒にあわせて、まだわからないですよ、でも。

副委員長（藤原浩司君） 答えが返ってこないとね。

委員（森本典夫君） まず、執行部にお尋ねして、それから副委員長言われよったように市のほうでわからない場合は社協なんかひよっと掴んでるかもわかりませんので、そのあた

りの全ての返事が来た段階でどうするかなという話をしたのがいいのではないかなというふうに思います。

それから、できればその施設長さんか職員かについてもろうて入らんと、男性1人が入ってカメラをパチパチやりようてもいけんのんで、そういう意味では基本的には誰かに、職員さんについていってもらおうというふうなことをせんと、後ごちゃごちゃ問題になっても大変なんで、基本は複数、職員さんとあわせて自分らが行くというふうにしたのがいいんじゃないかなと思います。

委員長（柳井一徳君） 今、森本委員のほうから、全てを把握ができた上でっていうことだと思いますんで、民間も含めての、それをじゃあ今日はそういった今後のスケジュールを決める段階、どういうやり方をするかというのを決めた。実際に取り組むのは、2月9日までには執行部から回答をいただき、2月9日に振り分け先を決めて行動を起こしたいというふうに思いますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（柳井一徳君） じゃあ、とりあえず今後のスケジュールも確認の上、そういったスケジュールで進みたいと思いますので、よろしくご協力をお願いいたします。

それでは、所管事務調査については本日はここまでにしたいと思います。

いかがでしょうか。

〈なし〉

〈その他〉

委員長（柳井一徳君） では、次にその他ですが、次回の市民福祉委員会日程、先ほど協議の中で出ました2月9日13時30分からここで行いますので、よろしく願いいたします。

こちらからは以上です。

〈なし〉

委員長（柳井一徳君） 以上で市民福祉委員会を閉会いたします。本日は大変ご苦労さまでございました。